

(1) 基本目標について

- ③各専門部会意見の取りまとめ
第2回審議会に向けた流れ

③ 第2回審議会に向けた流れ

◆分野別の目指すべき姿・基本目標の検討の流れ

● 専門部会の検討結果

第1回専門部会

【議題】

- ・ 現状と課題について
- ・ 重要となる施策やその先の将来像について

第2回専門部会

【主な議題】

- ・ 分野別の目指すべき姿の取りまとめ

● 他の専門部会の検討結果

● 区民参画手法を活用した区民意見

- ・ 区民アンケート（7/14～9/11）
- ・ 区民ワークショップ（8/17・9/9）
- ・ 大学生ワークショップ（9/1・9/20）
- ・ 外国人ワークショップ（9/2） 等

■ 第2回審議会

【議題】

- ・ 事務局作成の基本目標等のたたき台を提示

事務局

他部会の検討結果や区民意見などを踏まえ、基本目標等のたたき台を検討

(1) 基本目標について

③各専門部会意見の取りまとめ

子ども・福祉部会

③ 分野別の目指すべき姿の取りまとめ

子ども・福祉部会

● 分野別の目指すべき姿等

子育て



【主な意見】

- 大人目線の「子育て」ではなく、「子ども」をキーワードに検討を進めてほしい。子どもの声や権利を大切にするという視点は重要である。
- 一方で、子育て世代から選ばれるまちを目指すためには、「子育て」という視点もやはり重要である。
- 「子どもが未来の社会に夢と希望が持てるまち」というのは大事な視点である。
- 大田区でしかできない経験があれば、家賃が高くても大田区で子どもを育てたいと思ってもらえる。

【目指すべき姿の例】

- **子どもの声を大切にし、子どもたちの生きる権利や育つ権利が尊重されたまち**
- **子どもが未来の社会に夢と希望を持てるまち**
- **誰もが安心して子どもを産み育てることができ、子育て世帯から選ばれるまち**

③ 分野別の目指すべき姿の取りまとめ

子ども・福祉部会

● 分野別の目指すべき姿等

教育



【主な意見】

- 子どもたちが、STEAM教育等を通じて習得した知識・スキルを、社会で実際に試すところまでつなげていけるとよい。
- 外国籍、自分の性に違和感を覚える子ども等もいるので、多様性を認め合える教育という内容を入れたい。
- 教育には、家庭教育、学校教育、社会教育があり、三位一体となって進める必要がある。
- 区の幼児教育や学校教育に、教員が関わりたいと思うような環境整備も重要である。

【目指すべき姿の例】

- **社会の様々な課題に対して、未来を切り拓く力をもつ人材が育つまち**
- **子どもたち一人ひとりに応じた多様な学びと育ちが保障されたまち**
- **学校と地域が連携し、地域全体で子どもを育てる環境が充実したまち**

③ 分野別の目指すべき姿の取りまとめ

子ども・福祉部会

● 分野別の目指すべき姿等

高齢者



【主な意見】

- 人生100年時代を踏まえると、高齢者という区分けにこだわる必要はない。年齢に関係なく社会の中での役割や居場所があるとよい。
- 最近の子ども食堂は、高齢者や引きこもりの方もいて、多世代交流の場になっている。多世代交流できる地域のネットワークを大田区で作れるのではないか。
- 60歳でリタイアではなく、もう一度学び直し、社会に戻ってこれる仕組み作りも重要である。

【目指すべき姿の例】

- **年齢に関係なく社会の中での役割や生きがいがあり、いつまでも自分らしく暮らせるまち**
- **子どもから高齢者まで、地域の多世代交流が盛んなまち**
- **学び直しなどを通じて、生涯社会参加できる機会があるまち**

③ 分野別の目指すべき姿の取りまとめ

子ども・福祉部会

● 分野別の目指すべき姿等

福祉



【主な意見】

- 大田区ならではの技術力の活用やイノベーションを通じて、障がい者が参加しやすい地域社会を作ることが重要である。
- 知的・精神障がいの手帳所持者数は増加している。生産年齢人口が減っていく中で、障がい者の就労は重要性を増している。一人ひとりが自分らしい働き方をして、誰一人取り残さない方向性が必要ではないか。
- 8割以上の区民が地域活動等への参加意欲を示しているところは、注目すべき点である。まちづくりの際に、住民の力を形にすることが重要である。

【目指すべき姿の例】

- 誰一人取り残さない地域共生社会が実現したまち
- 高齢者や障がい者の多様な働き方が保障されたまち
- 誰もが地域活動に参加しやすく、お互いを支え合うことができるまち

③ 分野別の目指すべき姿の取りまとめ

子ども・福祉部会

● 分野別の目指すべき姿等

健康・スポーツ



【主な意見】

- 健康に関しては、「子どもにしっかり健康教育をしていくこと」、「自然と健康になるための仕掛け、環境を整備すること」の2点が重要である。
- 子どもの時から健康でいられるようにするため、運動や体を動かす生活習慣をつけることも重要である。
- 地域ごとの特性を生かした健康づくりを行っていくことが重要である。

【目指すべき姿の例】

- **子どもの時から健康について考えることで、生涯にわたって誰もがいきいきとした生活を送れるまち**
- **スポーツを通じて、誰もが元気に暮らせて仲間づくりができるまち**
- **地域ごとの特性を生かした健康づくりの取組が進んでいるまち**

③ 分野別の目指すべき姿の取りまとめ

子ども・福祉部会

● 分野別の目指すべき姿等

人口・自治体経営・その他



【主な意見】

- 子育て世帯の転出理由の中には「公園を含む周辺の自然環境」があるが、子どもたちのワーククラウドの中でも公園が一番大きいので、こうした子ども達の声をしっかりと形にしていけるとよい。
- 申請等の電子化を進め、区役所に来れない方もちゃんとサービスを受けられるようにすべき。
- 大田区は面積が広く、様々な住民属性や抱えている問題の違いがあるため、一緒くたの施策ではなく、地域特性に応じたきめ細かな施策を展開することが重要である。また、広く縦割りを横断する地域の仕組みづくりも重要である。

【目指すべき姿の例】

- **子どもがのびのびと遊べ仲間を拡げる公園があるまち**
- **行政手続のオンライン化が進んだ利便性の高いまち**
- **地域特性に応じたきめ細やかな施策が実施されているまち**

③ 全体に関する意見

子ども・福祉部会

(1) 基本目標の構成に関する意見

- 子どもを中心に据えた柱を一つ立てることは、区のアピールという点でも重要である。
- 子どもの視点で柱を検討していくことも重要だが、同時に子育てといった親目線も重要である。
- 子育て、教育の分野を子どもにまとめて一つの基本目標とし、高齢者、福祉、健康・スポーツのテーマをまとめてもう一つの基本目標とする方向性がよい。生涯学習やリカレント教育（社会人の学び直し）などは、子どもには含まれないため、もう一つの柱に含めるべき。

➡ 子どもを中心に据えた形の柱を検討し、子育ての視点のみならず、子ども自身が未来に希望を持って生きることができるような将来像を検討

➡ 主にその他の分野（高齢・福祉・健康等）を包含する形でもう一つの柱を検討

③ 全体に関する意見

子ども・福祉部会

(2) 全体に関する補足意見

- 子どもの「学び」とともに「遊び」を保障していくことを、基本目標の中で表現することも重要。
- アンケートの実施方法の偏りが気になる。HP告知やショッピングセンターのみではなく、業界団体にも声掛けをするべきではないか。

(1) 基本目標について

- ③各専門部会意見の取りまとめ
まちづくり・防災部会

③ 分野ごとの目指すべき姿の取りまとめ

まちづくり・防災部会

● 分野別の目指すべき姿等

防災



【主な意見】

- 防災や地域力、治安のいずれの分野においても、地域住民の繋がりによりお互いに「見守り合うまち」というキーワードは重要である。
- 避難所開設などはハード面の公助に含まれるが、住民の意識を高めていくようなソフト面においても行政として取組を行う必要がある。
- 民間と連携し、災害時には事業者の有する強みと区の強みを生かして被災者を支援できるような仕組みを考えるなど、公民で連携すれば様々なことができる。倉庫が一番多い大田区として、倉庫の備蓄などの活用を含めた連携を検討していくことが重要である。

【目指すべき姿の例】

- **地域住民との繋がりが強く、お互いが見守り合っているまち**
- **ハード・ソフトの両面が強化されたまち**
- **地域の強みを生かした協力体制や公民の協力体制が構築された強靱なまち**

③ 分野ごとの目指すべき姿の取りまとめ

まちづくり・防災部会

● 分野別の目指すべき姿等

治安



【主な意見】

- きれいなまちづくりを行っていくことで犯罪等についても減らすことができる。
- 蒲田の繁華街は、治安の面でデメリットもある一方、区の魅力でもある。まちの特性を踏まえて、うまくコントロールする視点も重要である。
- データ上犯罪は少なくなってきたが、アンケートによると治安に関する項目の評価は低い。いわゆる体感治安を向上させるには自治会の加入など、地域住民間での交流を増やす必要がある。

【目指すべき姿の例】

- **犯罪が少ないきれいなまち**
- **既存の区の魅力を損なうことなく、地域特性を踏まえて治安をコントロールできているまち**
- **心から安心して暮らすことができるまち**

③ 分野ごとの目指すべき姿の取りまとめ

まちづくり・防災部会

● 分野別の目指すべき姿等

公園・緑地



【主な意見】

- 公園の質を向上させるべきだが、一律ではなく、公園ごとにターゲット層を分析し、きめ細かい公園整備の戦略が重要となってくる。
- 大田区は公園の数は多いが、本当に遊べるような公園があまりない。20年後の公園の在り方を考えたときに、子ども達が本当にのびのびと遊べるような場所を作っていくことが必要である。
- 大田区の強みを生かしながら、民間の活力を導入した公園づくりを進めることは非常に有効である。

【目指すべき姿の例】

- **地域の特性を生かした特色ある公園があるまち**
- **子どもがのびのびと遊べる公園があるまち**
- **民間の力を効果的に活用する形で公園整備が進んだまち**
- **民間と協力し、民間活力を活かすことのできるまち**

③ 分野ごとの目指すべき姿の取りまとめ

まちづくり・防災部会

● 分野別の目指すべき姿等

地域力



【主な意見】

- 防災や地域力、治安のいずれの分野においても、地域住民の繋がりによりお互いに「見守り合うまち」というキーワードは重要である。
- 全てにおいて地域の力が大事になってくるが、地域のイベントを年に1回やるとしても、一時的に人が集まっただけで終わってしまう。今後どうやって人を集めていくか考えていかなければいけない。
- テクノロジーを用いて色んな世代が地域に参加できるようにしたり、自分たちで自分たちのまちを良くするということが根底のテーマにあるとよい。

【目指すべき姿の例】

- **地域の繋がりが充実し、子どもや高齢者の見守りが行き届いている安心なまち**
- **継続的に様々な世代の人が集まる、地域の力が強いまち**
- **デジタル技術の活用を通じて、自らの手で地域を良くしていくことができるまち**

③ 分野ごとの目指すべき姿の取りまとめ

まちづくり・防災部会

● 分野別の目指すべき姿等

交通



【主な意見】

- 公民連携により交通を考えることも重要。今ある既存のやり方でどうすべきかという発想を超えたところに解決・解消方法がある。
- 区外に出ていく際には交通の便が良いが、大田区内の移動は不便。大田区そのものを盛り立てていくには、区内の移動をいかに容易にしていくかを考えることが重要である。
- 区民にとって暮らしやすいまちをつくるためには、他自治体と連携して交通事業を検討することも重要である。

【目指すべき姿の例】

- 公民連携やDXの活用により、移動がスムーズにできるまち
- 区内への移動も区外への移動も便利なまち
- 様々な主体と連携した交通施策により区民の利便性が向上しているまち

③ 分野ごとの目指すべき姿の取りまとめ

まちづくり・防災部会

● 分野別の目指すべき姿等

住まい



【主な意見】

- ・ ファミリー層を厚くしていきたいというのは共通の認識であり、目指すべき姿としてファミリー層が多いまちというのがたたき台になる。
- ・ 女性が安心して住めるまちというのが、子育て世代等が安心して住めるまちにもつながってくる。
- ・ 適正に管理されていない空家が増加しているが、空家の情報をいち早く捉えるためにも、各関係部署や出張所は自治会町会との情報共有などの連携が重要である。

【目指すべき姿の例】

- ・ **ファミリー層にとっても住みやすいまち**
- ・ **女性や子育て世代が安心して住めるまち**
- ・ **行政と地域の連携により、空家の適正な管理がなされ、地域の安全・安心や景観の改善につながっているまち**

③ 分野ごとの目指すべき姿の取りまとめ

まちづくり・防災部会

● 分野別の目指すべき姿等

DX



【主な意見】

- 国の防災とDXにおける考え方を踏まえ、一律的な情報提供ではなく個別最適な情報を提供し、きめ細やかなサポートを行うために、様々な情報を連携していくことが必要。
- DXが分野をまたいで共通して重要であるというのは共通認識である。
- 単純にデジタル化を進めるのではなく、デジタル化をきっかけにそもそも業務自体のトランスフォーメーションを進めるのがよい。業務を簡素化・標準化することが目指すべき方向性として考えられる。
- デジタル化を支援していくとともに、デジタル化に対応できない高齢者に配慮していく必要がある。

【目指すべき姿の例】

- **業務自体のトランスフォーメーションが進められているまち**
- **デジタル技術を活用し、個々人の状況に合わせたサービスが提供される誰一人取り残さないまち**
- **あらゆる分野に対してDXが適用され、利便性が大きく向上しているまち**
- **デジタル技術の恩恵を享受できるまち**

③ 分野ごとの目指すべき姿の取りまとめ

まちづくり・防災部会

● 分野別の目指すべき姿等

人口・自治体経営・その他



【主な意見】

- 担当課だけがその問題に対して取り組むのではなく、区民の方も含めてみんなでまちづくりをしていくことが、区のあり方としては重要なポイントである。
- 成功している自治体からノウハウを学び取ることも一つの方向性としてあるのではないか。

【目指すべき姿の例】

- まちの問題を区に関わる全てのひとで解決していくまち
- 他自治体の良いところを取り入れ、次々と進化していくまち

③ 全体に関する意見

まちづくり・防災部会

(1) 基本目標の構成に関する意見

- 安全・安心は重要な要素であり、アンケートでも安心に関する意見が多いため、安全・安心を軸にまちづくり関連の基本目標を掲げることには賛成。
- 地域力・DXについては、あらゆる分野に共通する事項であるため、この分野のみで基本目標として掲げるべきではない。

- ➡ 「安全・安心」に交通や公園、まちづくりの観点からの「快適さ」、「暮らしやすさ」等を加えた形の柱を検討
- ➡ 「DX」と「地域力」は、特定の柱としてではなく、全体に係る形で整理

③ 全体に関する意見

まちづくり・防災部会

(2) 全体に関する補足意見

- 将来的に戦争がない平和なまちは子供たちも含めて区民全員が望んでいる。そういうことをまちづくりの中でも生かしていく視点が重要である。
- 目指すべき姿として、子育て世帯、子どもの教育とかも含めた、そういう部分を充実するまちというのは、絶対的なキーワードとして重要である。
- 大田区全体が羽田空港の恩恵を受けるためにはどうしたらよいかを考えるべき。羽田空港はまちづくりだけでなく、産業などを含めて横断的に関連する役割を持っている。
- 安全性や利便性を求めるために際限なく投資することはできない。何を大事にしていくのか、プライオリティを明確にすることが重要である。
- 公園の利用状況や交通サービスの頻度のようなものに対し、テクノロジーの活用によりデータを取得し、エビデンスに基づいた評価を行うことが重要。

(1) 基本目標について

③各専門部会意見の取りまとめ

産業・環境部会

③ 分野ごとの目指すべき姿の取りまとめ

産業・環境部会

● 分野別の目指すべき姿等

産業・経済



【主な意見】

- ・ 事業承継が円滑にできる環境は重要であり、大田区で事業を始めれば事業承継も上手くいくという流れを作れるとよい。一方で、産業の新陳代謝という点も意識しながら構想を検討していく必要がある。
- ・ 若い人たちが新たなチャレンジができるまちという視点も重要である。創業支援のまちという着眼点も入れてほしい。
- ・ 「仲間まわし」を発展させ、企業同士の緩やかな統合や、ものづくりにとどまらない業種を越えた連携など、大田区ならではの産業の維持・発展という視点が重要である。

【目指すべき姿の例】

- ・ 円滑な事業承継と社会環境の変化への柔軟な対応により、区内企業の活力が高まるまち
- ・ 誰もが新たにチャレンジできる環境で、次々と新しいビジネスが生まれるまち
- ・ 「仲間まわし」が業種の垣根を越えた形で発展を遂げ、区内企業の「稼ぐ力」が向上しているまち

③ 分野ごとの目指すべき姿の取りまとめ

産業・環境部会

● 分野別の目指すべき姿等

観光・文化



【主な意見】

- ものづくりの会社を回る観光や羽田イノベーションシティで研修をする観光など、区の特徴を活かした産業観光という視点は重要であり、また、羽田だけでなく、観光客を蒲田などの街中まで誘致するという視点も重要である。
- 空港を抱える自治体として、区全体が「観光のまち」という意識の醸成ができるような仕掛けづくりを戦略的に行っていくことが重要である。
- 区民自身が大田区の魅力を一番知っているまちであって欲しい。
- 大田区内で培ってきた文化・ソフトパワーを区政の魅力として発信していくことも大切。

【目指すべき姿の例】

- **大田区民がまちの魅力を感じ、大田区ならではの特徴ある観光を展開できるまち**
- **23区唯一の空港を有する長所を生かし、観光で経済が活性化するまち**
- **磨き上げられた「大田区ブランド」が世界中に認知され、にぎわいあふれるまち**

③ 分野ごとの目指すべき姿の取りまとめ

産業・環境部会

● 分野別の目指すべき姿等

環境



【主な意見】

- 区全体の消費電力量等のデータを可視化し、区民に現状を見せた上で判断を委ねるべき。そうしなければ区民の高いグリーンネスの意識が環境負荷の軽減につながらない。区民の具体的な行動に結びつくような、働きかけ、施策、啓蒙活動のようなものを将来像の中に取り込めるとよい。
- ただいたずらに高い環境の理想を掲げるのではなく、現実的にどの程度であれば皆が無理なく対応できるかという、少しゆるい落としどころを探していくという視点も重要である。
- 2040年頃は「大田区環境ビジョン2050」の通過点として、環境先進都市としてのビジョンを基本構想の中にも落とし込んでいくことが必要である。

【目指すべき姿の例】

- **自分の行動が未来の環境を左右するという意識を誰もが持ち、世界に誇ることができる環境行動を実践しているまち**
- **環境が社会・経済の基盤であることを認識し、脱炭素・資源循環型社会の実現に向けて確かな歩みを進めるまち**

③ 分野ごとの目指すべき姿の取りまとめ

産業・環境部会

● 分野別の目指すべき姿等

国際都市・多文化共生



【主な意見】

- 相互理解を進め、誰もが不安を感じることなく、安心して暮らせる秩序ある共生を実現するためには、外国人が何を感じているかを十分理解することが必要である。
- 外国人との共生においては、個人個人で捉えるよりも、日本人のコミュニティと日本に住んでいる外国人のコミュニティとの関係で捉えることが重要である。
- 他の自治体よりも外国人のサポートができる、というイメージになれば、区のアドバンテージにもつながる。

【目指すべき姿の例】

- 国籍に関わらず、誰もが互いを思いやり、分け隔てなく良好な関係を築いているまち
- 多様な個人やコミュニティがつながりをもち、安心して共生しているまち
- 大田区の魅力や強みを国内外に発信し、多様な人々が集い・働く国際性豊かなまち

③ 分野ごとの目指すべき姿の取りまとめ

産業・環境部会

● 分野別の目指すべき姿等

人口・自治体経営・その他



【主な意見】

- 人口減少を食い止めるには、ファミリー世帯の定着が重要である。ファミリー世帯向けの住宅の確保を計画的に行政が進めていくべき。
- 大田区は発信力が弱い。区が行っている先進的な取組をどのようにしてまちづくりに生かしていくか考え、積極的に発信していくべき。
- 基本構想を着実に実現していくためには、行政組織の持続可能性も重要な視点である。

【目指すべき姿の例】

- **子どもを生み、育てたくなるまち**
- **区の先進的な取組が、区民のみならず他自治体をも魅了するまち**

③ 全体に関する意見

産業・環境部会

(1) 基本目標の構成に関する意見

- 20年先を見据えた変化に素早く対応できるようにしていくことが重要となる中で、産業と環境を束ねた形で柱とすることは賛成。
- 環境は人々の生活においても重要なものであるため、産業と環境のみでくくって良いのか疑問もある。

➡ 「経済」と「環境」いずれも犠牲にすることなく、
調和・両立させていくことが重要であるため、
産業と環境は1本の柱として検討

※ただし基本目標の柱はそれぞれが独立したものではなく、
相互に補完し合うものと解釈。

③ 全体に関する意見

産業・環境部会

(2) 全体に関する補足意見

- 小中学生のアンケートの自由記述で「やさしい」という単語が上位にあることから、「2040年の大田区と大田区に暮らす人が、人にもまちにも環境にもやさしくあってほしい」という視点を基本理念や将来像に取り入れるべき。
- 区のポテンシャルを生かし、他区を凌ぐ政策を打ち出し「引っ越してでも住みたい大田区」を目指すべき。
- 「世界から見た大田区」という視点は重要であり、多くの人から大田区に関心を持ってもらえるようなまちになるとよい。
- 地域資源・観光資源を生かし、商店街や工業関係の事業者が連携・協力すると、相乗効果でまち全体が活性化するのではないか。
- 英語教育に力を入れ、区内の小中学生が皆日常的な英会話のスキルを備えているようなまちになるとよい。